

ワークショップ開催概要

タイトル: 盛岡サケワークショップ: 持続的なサケ類漁業のための水産研究と教育の架け橋として

背景と目的: 2011年3月の東日本大震災及び大津波により壊滅的な被害を受けた三陸沿岸の水産業復興のため、岩手大学は新たに水産系大学院および学部コースを設置することとした。三陸沿岸の水産業はサケ漁に大きく依存している。このため本ワークショップは、サケ類研究の推進により三陸水産業の復興と持続的発展を図ろうとする岩手大学における水産教育の支援のために、その成果を役立てることを目的とする。

日時: 2016年2月8日(月)～10日(水)

場所: ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング、岩手県盛岡市

日程:

2月08日(月) 8:45～20:30 ワorkshop及び歓迎レセプション
2月09日(火) 9:30～15:50 ワorkshop及びポスターセッション
2月10日(水) 9:00～17:30 フィールドツアー

内容と講演題目(各演題は英日同時通訳): 2月08日(第1日目)

歓迎の辞	八代 仁	8:45 – 8:50
開催趣旨説明	阿部周一	8:50 – 9:05
基調講演(座長 永澤 亨)	Richard J. Beamish	9:05 – 9:45
	– 休憩 –	9:45 – 10:00

セッション1 太平洋サケ類の生産について(座長 永澤 亨、Marc Trudel)

a. 北米のサケ類生産	Andrew K. Gray、James E. Seeb	10:00 – 10:50
b. ロシアのサケ類生産	Aleksandr Zavolokin	10:50 – 11:15
c. 日本のサケ類生産	浦和茂彦	11:15 – 11:40
	– 昼食 –	11:40 – 13:00
c. 日本のサケ類生産	宮腰靖之、小川 元	13:00 – 13:50
d. NPAFC の役割	Nancy Davis	13:50 – 14:15

セッション2 サケ類の生物学的研究について(座長 長濱嘉孝、Graham Young)

a. 遺伝学的研究	Lisa W. Seeb、佐藤俊平	14:15 – 15:05
	– 休憩 –	15:05 – 15:15
b. 生理学的研究	Penny Swanson、Birgitta Norberg 上田 宏	15:15 – 16:30
c. 生態学的研究	Marc Trudel	16:30 – 16:55
	– 休憩 –	16:55 – 17:10

Session 3. Panel discussion	阿部周一(座長)、Andrew K. Gray Aleksandr Zavolokin、浦和茂彦 Lisa W. Seeb、Penny Swanson Marc Trudel	17:10 – 18:15
	– 歓迎レセプション –	18:30 – 20:30

内容と講演題目（各演題は英日同時通訳）：2月09日（第2日目）

セッション4 サケ類及び水産分野の教育について（座長 田中教幸、Penny Swanson）

- | | | |
|-------------------|--------------------|---------------|
| a. 生態系に関する教育 | 帰山雅秀 | 9:30 – 9:55 |
| b. 水産業の社会経済学的教育 | Kathrine Tveiterås | 9:55 – 10:20 |
| c. 水産業における地域連携教育 | Graham Young | 10:20 – 10:45 |
| | – 休憩 – | 10:45 – 11:00 |
| d. グローバルマーケティング教育 | 清水幾太郎、石村学志 | 11:00 – 11:50 |
| | – 昼食 – | 11:50 – 13:00 |

セッション5 ポスターセッション

– 休憩 – 14:30 – 14:45

セッション6 パネルディスカッション
とまとめ

田中教幸（座長）、永澤 亨
Richard J. Beamish、浦野明央
Kathrine Tveiterås、Graham Young
Birgitta Norberg、石村学志

閉会の辞

山内皓平 15:45 – 15:50

内容（英日同時通訳1名随行）：2月10日（第3日目）

フィールドツアー さけ・ますふ化場及び沿岸被災地など現地視察及び意見交換 9:00 – 17:30

（※ フィールドツアーは関係者のみの参加となります）